

(様式6-3)

研修等 報告書

令和3年1月21日

三田市議会議長 森本政直 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	代表者	小杉崇浩	印
	議員名		
参加者氏名	小杉崇浩		
講演会等研修名	令和2年度市町村議会議員研修 第2回「防災と議員の役割」		
研修事項	・災害への備えと危機管理 ・平時の防災と議員の役割 ・災害時における議会BCPの策定・検証・改正～足利市の取組～ ・災害時、復旧・復興期の議員の役割		
日 時	令和3年1月7日(木)～令和3年1月8日(金)		
場 所	全国市町村国際文化研修所		
所 見	今回の研修を通して、実際に大規模災害が発生した際の行政や市民の混乱や個々人の精神的苦痛、そうした状況の中で役割分担して行動することの難しさ等を改めて認識することができました。冷静に、かつ適切に行動するためには、日頃から、過去の災害に学ぶ姿勢とBCPをはじめとする危機を想定した準備が必要だと強く思いました。三田市において大規模災害が発生した場合を想定し、今からできることをしっかりとやっていきたいと思えます。 (詳しくは、研修報告書別紙に記載。)		
添付資料	・当日配布資料 ・パンフレット ・研修報告書別紙 ・受講証明書		

6 添付書類 (講演会内容のパンフレット等)

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、参加者氏名は不要)

## 【研修報告書別紙】

「令和2年度市町村議会議員研修 第2回「防災と議員の役割」

日時：令和3年1月7日（木）～令和3年1月8日（金）

### ●講義「災害への備えと危機管理」

最初の講義は、東京大学生産技術研究所教授であり、東京大学社会科学研究所特任教授でもあられる加藤孝明氏が講師でした。理系と文系の双方に所属されており、技術面と社会面の理解ができる貴重な先生だと思いました。加藤先生の講義で特に重要だと思われるところを以下にまとめます。

- ・40年前にもブロック塀の倒壊による大きな被害があったにも関わらず、大阪府北部地震でも繰り返されており、教訓の横展開や継承することの難しさがある。
- ・糸魚川大規模火災におけるマスコミの報道に違和感があり、この地域のような「延焼運命共同体」は全国にたくさんあるにも関わらず、そちらに目を向けず、糸魚川だけの特別な事例とみるべきではない。社会（マスコミ）は、災害イメージを過少にみている可能性があり、実際には、同じようなリスクが他の地域にもあることにしっかりと目を向けるべき。
- ・東日本大震災以降の災害の様子を見てみると、自助・共助・公助のバランスが崩れているのではないかと懸念がある。自然災害からの安全は行政が確保しなければならないという変な雰囲気は、防災意識の低い人が目覚めた結果で、本来は自助・共助・公助がバランスよく機能を発揮すべきである。
- ・安全（防災）至上主義、科学・シミュレーション至上主義、全国スタンダード主義の3つの至上主義が広まっているが、その在り方に関しては見直していく必要があるのではないかと。
- ・行政の変化に応じた対策が必要ではないか。これまでの行政は、風船のようなイメージで、各部署が幅広く市民のニーズに応えることができていたが、現在の行政はワインボトルのようなイメージであり、専門性が進んだ結果、各部署の対応範囲が狭くなってしまっている。これからは、縦割りを総合化する力、しくみが必要であるとのことで、大切なのは、「連携する力、連携できる力、連携させる力」である。
- ・災害時支援は、膨大な需要（要望）に対し、（公の）資源は桁外れに少ない状況で対応しなければならない。資源を膨らませるためには、「公の資源だけ利用」から脱却し、民間資源（パチンコ店、温泉旅館等）の利用が不可欠。また、需要（要望）を減らすためには、公的支援の対象を社会的弱者に絞ることや公に頼らなくても災害を乗り越えられる「災害時自立生活圏」の構築が求められる。需要（要望）は掘り起こせば無尽蔵に出てくるので注意が必要。

### ●講義・演習「平時の防災と議員の役割」

ここでは、元板橋区職員で、現在は跡見学園女子大学の鍵屋一氏の講義と演習でした。講義では、過去の災害の事例をもとに、防災教育や事前の準備がいかに重要であるかという内容でした。また、災害被害は、自然の外力×人口（暴露量）×社会の脆弱性という方程式で表せるとのことで、高齢化の進行や自治体職員の減少は大きな影響を与えるとのことでした。

演習は、3～4人ずつのグループに分かれて、ワールドカフェ方式で進められました。岩手県大槌町の平野総務部長（現町長）の東日本大震災当時の記録をもとに、・大災害後、行政は何をする？・行政職員はどうなる？・平時に何をしておくべき？というテーマで議論しました。当時の町長が亡くなり、急に陣頭指揮を執ることになった事例で、職員も136名中33名がなくなるという壮絶な話でした。参加したそれぞれの議員が大切に思う視点に異なるところがあり、こうして議論することで新しい価値を知ることの大切さを学ぶことができました。

### ●事例紹介「災害時における議会BCPの策定・検証・改正～足利市の取組」

ここでは、足利市議会議員の栗原収氏による足利市議会災害時BCP（業務継続計画）の事例発表がありました。

・栃木県足利市は、人口14万5千人で、栃木県の内陸部にあり、北部が山地、南部に渡良瀬川の流れる平野があるという地形で、三田市ともよく似ている土地環境であると思いました。議員数は24名で、男性18名、女性6名という構成。

・災害時BCPは、東日本大震災後の教訓で、災害時の議会が機能不全とならないような対策の必要性を感じて策定することになった。

・策定までには、総務企画防災常任委員会として平成25年度から先進地視察を繰り返し、まずは委員で勉強するとともに、その重要性を議会全体で少しずつ共有していった。そして、平成30年に、総務企画防災常任委員会の委員による懇談会を5回開催し、素案を策定した。その後、議員総会での説明を経て、本会議で足利市議会基本条例の改正を行った。

・策定後は、防災訓練や令和元年東日本台風の対応などの経験を踏まえ、必要な改正を行っている。

・具体的な策定の経緯や苦勞した点等を教えていただくことができ、三田市議会においても今後策定する際の参考になると思いました。

### ●講義・演習「災害時、復旧・復興期の議員の役割」

ここでは、住宅の耐震化の重要性の話がありました。

・平成17年3月に、東海・東南海・南海地震を対象に地震防災戦略を策定し、3年後にその戦略の効果測定したところ、想定死者数は約4,000人減少、経済被害は11兆円減少との結果であった。そのうち、死者数に関しては半数、経済被害に関しては7割が住宅等の耐震化によるものであった。

・東京、神奈川、千葉の老朽木造住宅190万戸の耐震化にかかる費用は約2兆円弱であるが、67兆円の被害軽減が見込まれるとの調査結果がある。

・黒潮町では、元郵便配達員を耐震改修の個別訪問の専任で雇い、何回も働きかけることでほぼ耐震化を終えている。字が書けないからという理由で申請しない人もおり、丁寧な対応が必要である。

・賃貸住宅は耐震診断をした場合の耐震性表示が義務付けられているが、耐震診断は義務化されていない。診断するかどうかは所有者に任されており、これでは耐震診断そのものが進まないのでは。

演習は、前日と同じく、ワールドカフェ方式で実施されました。今回は、宮城県東松島市の市議会議員の記録をもとに議論しました。災害発生時に、議員という立場がある中、どのような行動をとるべきかは、参加したそれぞれの議員の間でも異なる意見が出されました。特に、スタンドプレーは慎むべきだとの意見と積極的にリーダーシップをとるべきだという意見の対立が見られました。議会としては、BCPを策定して起き、組織として機能不全に陥らないようにしなければならないという意見が出されていました。

●今回の研修を通して、実際に大規模災害が発生した際の行政や市民の混乱や個々人の精神的苦痛、そうした状況の中で役割分担して行動することの難しさ等を改めて認識することができました。冷静に、かつ適切に行動するためには、日頃から、過去の災害に学ぶ姿勢とBCPをはじめとする危機を想定した準備が必要だと強く思いました。三田市において大規模災害が発生した場合を想定し、今からできることをしっかりとやっていきたいと思えます。

# 【講義】災害への備えと危機管理

加藤 孝明

東京大学生産技術研究所・教授／社会科学研究所・特任教授，博士(工学)  
【まちづくり，都市計画，都市防災，地域安全システム学】

## 平時の防災

～マネジメントを中心に～

令和2年度 市町村議会議員研修(1)

全国市町村国際文化研修所

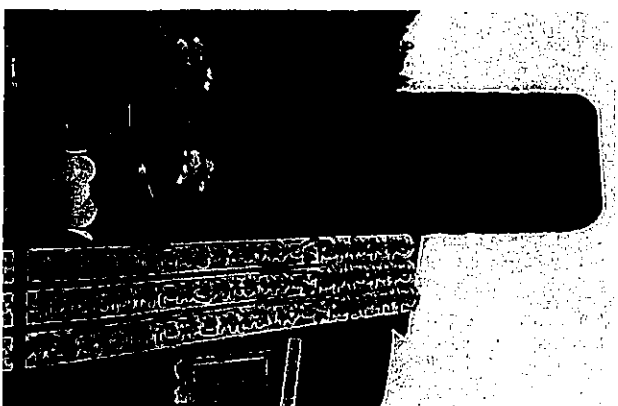
令和3年1月7日・8日

跡見学園女子大学観光コミュニケーション学部

(元板橋区危機管理担当部長、前区議会事務局長)

鍵屋 一

## 合川南小学校児童 慰霊碑



# 平時の防災 ～ワークショップ～

令和2年度 市町村議会議員研修(2)

全国市町村国際文化研修所

令和3年1月7日・8日

跡見学園女子大学観光コミュニケーション学部 鍵屋 一  
防災企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子

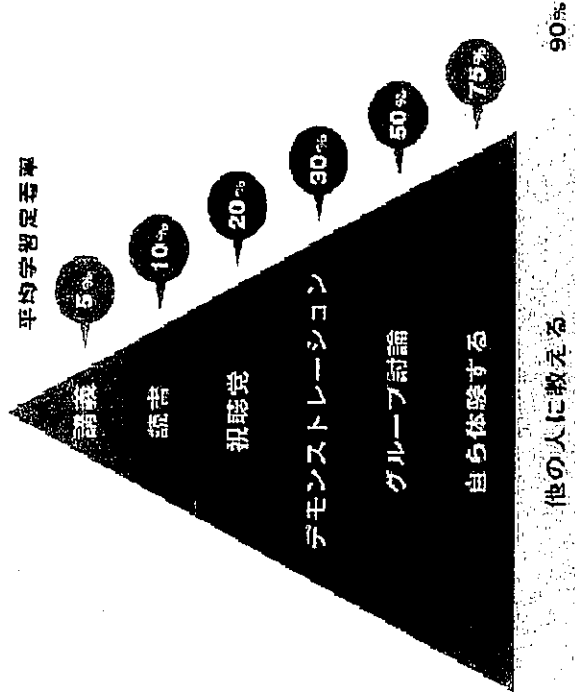
# 災害時の議会・議員活動 ～ワークショップ～

令和2年度 市町村議会議員研修(3)

全国市町村国際文化研修所

令和3年1月7日・8日

跡見学園女子大学観光コミュニケーション学部 鍵屋 一  
防災企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子



ラーニングピラミッド  
\*144 The Learning Pyramid, Fritz A. Nozloph Training Laboratories  
産業能率大学ホームページから引用

## 災害イメージづくりのプロセス

1. 災害に学ぶ(暗黙知)  
⇒生々しい経験談を読む
2. 課題、教訓、知恵を抽出する  
(形式知)
3. ワールドカフェで話し合っ  
て、知恵、教訓を共有する

# 災害時の議会・議員活動 ～まとめと展望～

令和2年度 市町村議会議員研修(4)

全国市町村国際文化研修所

令和3年1月7日・8日

跡見学園女子大学観光コミュニケーション学部

(元板橋区危機管理担当部長、前区議会事務局長)

鍵屋 一

# 足利市議会災害時BCP (業務継続計画) について

令和3(2021)年1月8日(金)

足利市議会議員 栗原 収  
(足利市議会災害時研究支援本部長)

1頁/46頁

## 事業継続(BC)の目的

組織が災害で被害を受けても

- ・ 組織関係者の人命を守る
- ・ 重要業務を(なるべく)中断しない
- ・ 重要業務が中断した場合はできるだけ早急に復旧させること

※何が何でも事業継続ではない!  
※人々や地域社会に迷惑をかけてはならない!

## 私のふるさと 足利市(栃木県)



2頁/46頁